



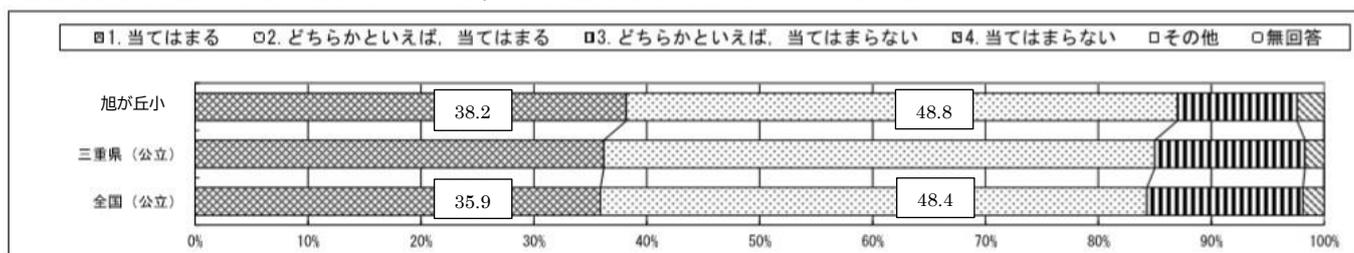
令和3年度 全国学力・学習状況調査結果(児童質問紙調査結果)について

学力調査は、教科に関する調査の他、児童質問紙調査も行われます。質問紙調査は、生活習慣や学習への取り組み方など、全部で69の質問に答えます。クロス分析によって、教科の正答率との間に相関関係が見られる項目もあります。以下は、本校の特徴的な結果です。

<全国と比べて肯定的な回答が高い割合となった項目>

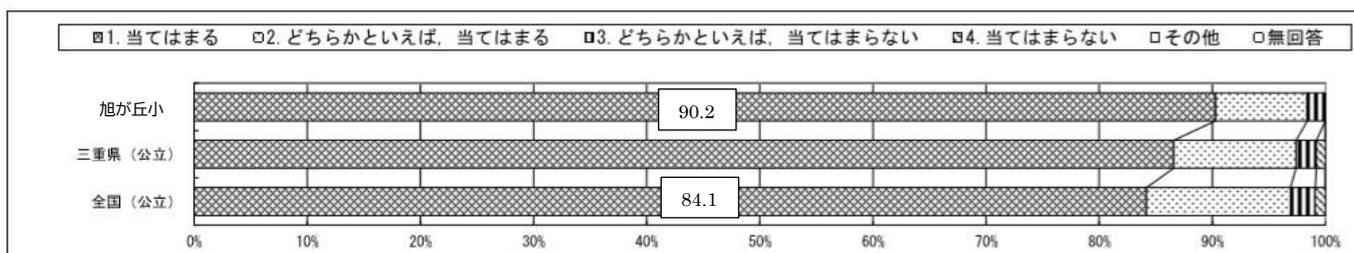
掲載した項目以外にも、良い結果が出ている項目は、たくさんあります。

【質問8】自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。



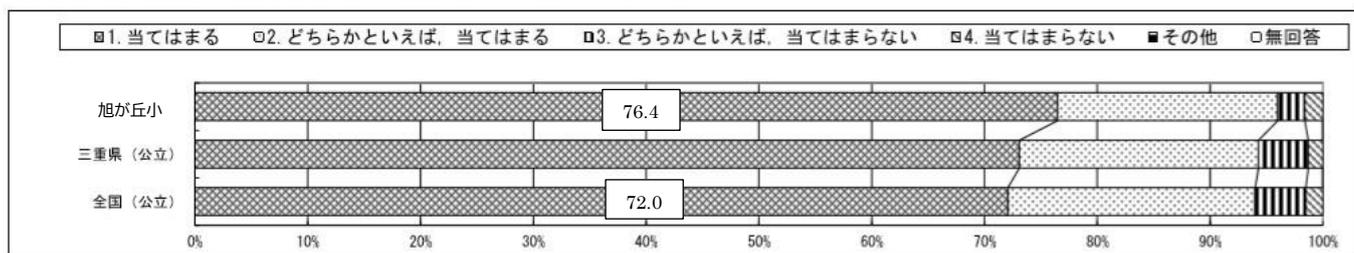
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した児童の割合が高い。(全国比 +2.7)

【質問11】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



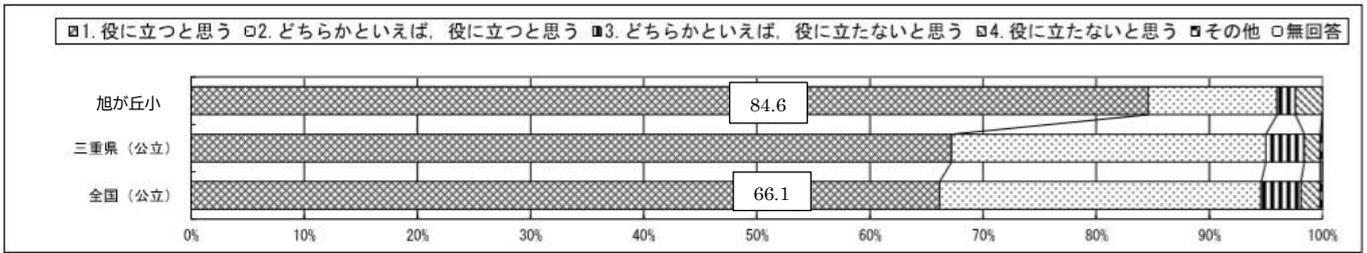
「当てはまる」と積極的肯定をした児童の割合が高い。(全国比 +6.1)

【質問16】友達と協力するのは楽しいと思いますか。



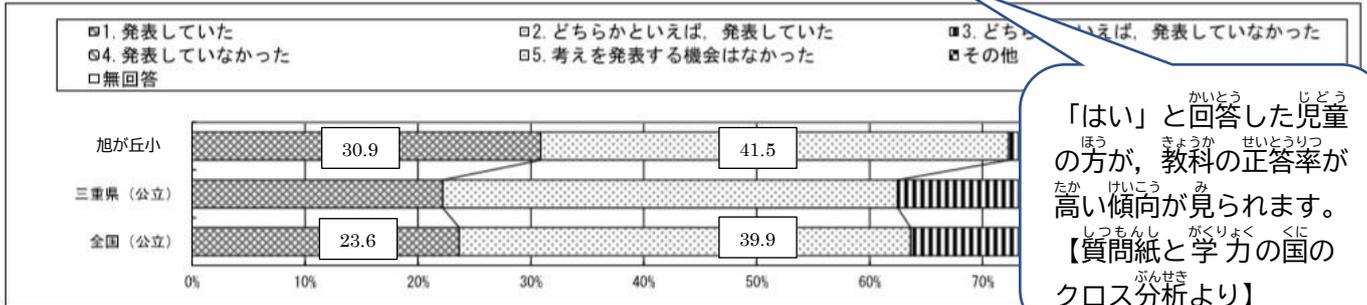
「当てはまる」と積極的肯定をした児童の割合が高い。(全国比 +4.4)

【質問28】 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。



「役に立つと思う」と積極的肯定をした児童の割合が高い。(全国比 +18.5)

【質問32】 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。



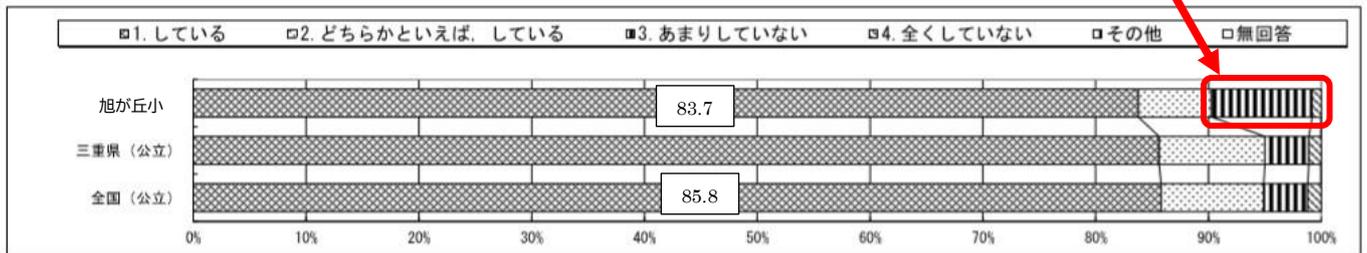
「はい」と回答した児童の方が、教科の正答率が高い傾向が見られます。
【質問紙と学力の国のクロス分析より】

「発表していた」と回答した児童の割合が高い。(全国比 +8.9)

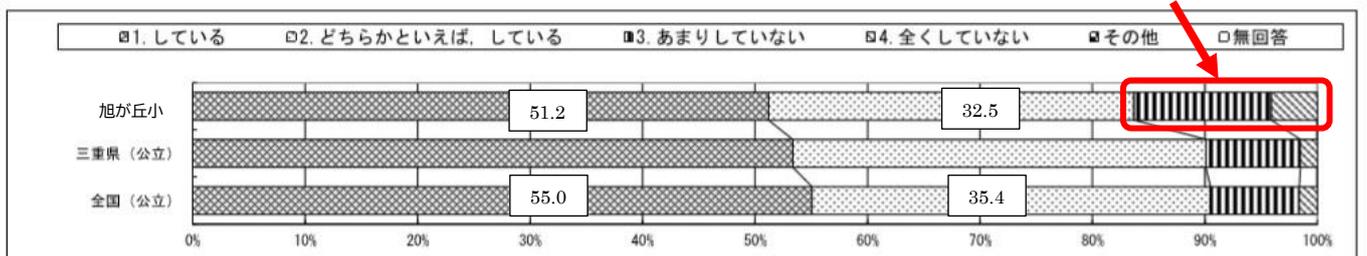
＜課題となった項目＞

規則的な生活習慣，ゲームをする時間

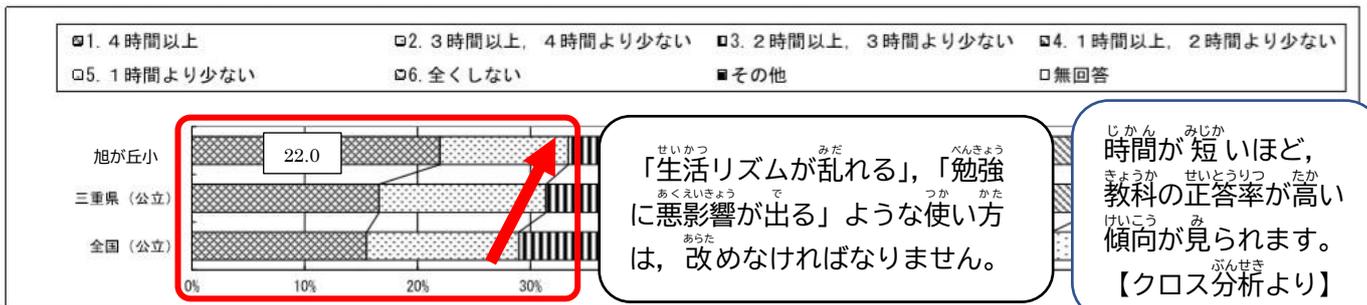
【質問1】 朝食を毎日食べていますか。 *朝食を食べない児童の割合がやや高い。(本校 9.7%)



【質問3】 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。 *不規則な児童の割合がやや高い。(本校 16.3%)



【質問5】 普段 (月曜日～金曜日)，1日当たりどれくらいの時間，テレビゲームをしますか。



「生活リズムが乱れる」，「勉強に悪影響が出る」ような使い方は、改めなければなりません。

時間が短いほど、教科の正答率が高い傾向が見られます。
【クロス分析より】

3時間以上ゲームをする児童の割合が高い。2割以上の児童が、平日に4時間以上ゲームをしています。